

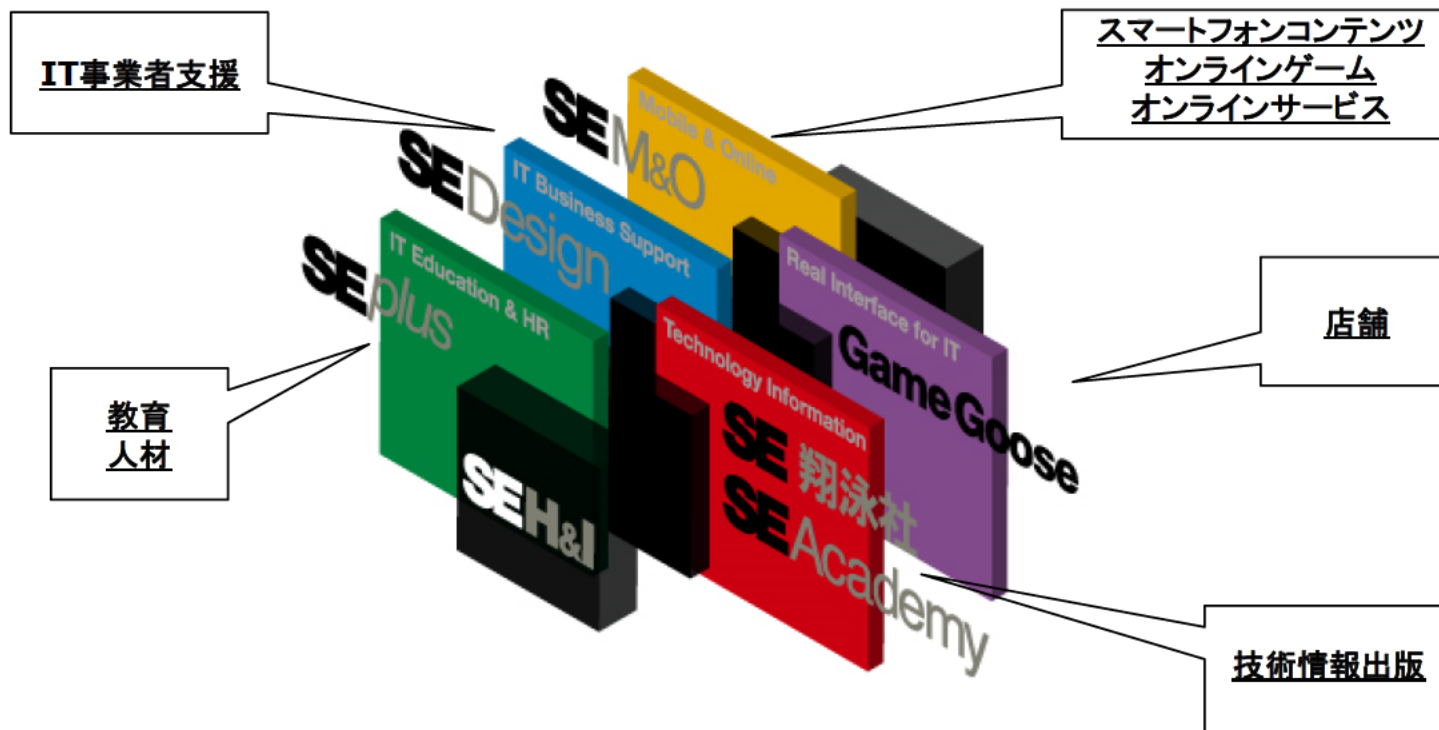
2021年3月期決算 および 今後の事業展開について

2021年6月
SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社



当社グループについて

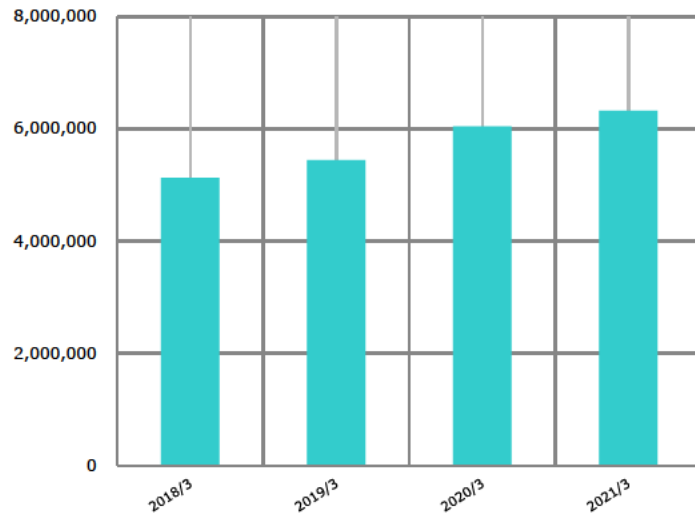
最適化された事業資産構成を目指すIT関連事業と長期投資を中心とした企業集団



※GameGoose業績は継続性の観点からセグメント上はソフトウェア・ネットワークに分類されています。
※上記会社以外に、投資運用業務に特化したSEインベストメント株式会社(子会社)があります。

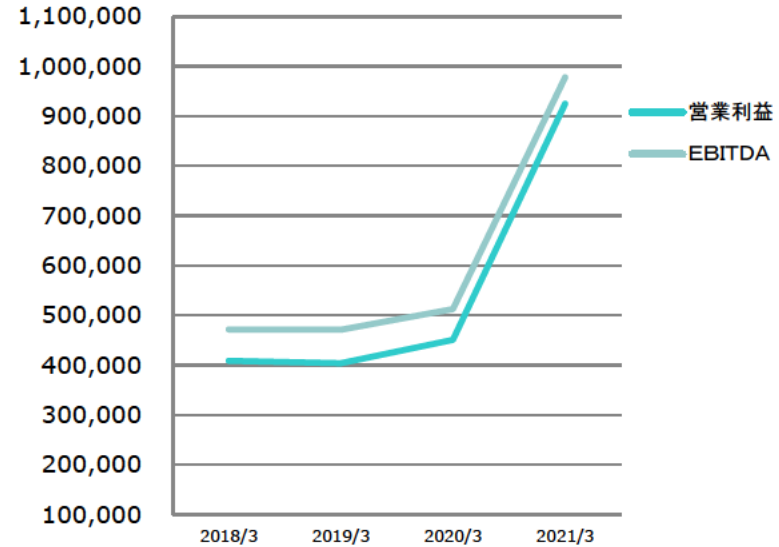
当社グループについて

売上高



営業利益およびEBITDA

EBITDA=営業利益+減価償却(のれん除く)



新規事業投資継続、事業のオンライン化加速により利益成長フェーズへ



2021年3月期決算について



2021年3月期決算概要

期初の重点課題：中長期にわたる一層の成長のために

- 1. 将来に向けた事業会社各社の成長基盤構築・整備**
- 2. 新規収益基盤の創出**
- 3. 事業会社経営人材の拡充と育成**
- 4. 外的環境要因に耐性のある事業基盤整備**

<概況>

- ①コロナ禍の中、従来より進めてきたオンラインビジネスの加速と業務環境のオンライン化により大幅増益**
- ②出版事業及び教育・人材事業が好調**
- ③コーポレートサービス事業は、コロナ禍による受注の減少などが影響**
- ④ソフトウェア・ネットワーク事業は、基盤事業の成長・改善により大幅に利益改善**

連結損益計算書

(単位:百万円、%)

	2021/3連結	2020/3連結	前期比(%)
売上高	6,317	6,038	+4.6
売上総利益	3,119	2,739	+13.9
販管費	2,191	2,297	△4.6
営業利益	924	450	+105.1
経常利益	901	442	+103.6
特別利益	0	23	△96.7
特別損失	29	60	△51.6
親会社株主に帰属する当期 純利益	573	206	+177.0
※包括利益	1,081	△50	-

事業セグメント別損益(出版事業)

IT関連書籍出版等

	2021/3 連結	2020/3 連結
売上	4,082	3,722
セグメント 利益	976	692

- 書籍オンライン販売、Webメディア、電子書籍などオンラインベース収益が期を通じて好調
- リモートワークなど業務の効率化を促進



事業セグメント別損益(コーポレートサービス事業) IT関連企業向マーケティング・プロダクト関連支援

	2021/3 連結	2020/3 連結
売上	681	901
セグメント 利益	7	66

- コロナ禍の影響により主に期初に受託案件が減少するも徐々に回復

事業セグメント別損益(ソフトウェア・ネットワーク事業)

ソフトウェア開発、コンテンツ開発・提供、ゲーム施設運営等

	2021/3 連結	2020/3 連結
売上	742	731
セグメント 利益	42	△105

- **基盤事業やサービスが安定し利益大幅改善・黒字化**



事業セグメント別損益(教育・人材事業)

IT技術者教育、医療系人材紹介

	2021/3 連結	2020/3 連結
売上	679	566
セグメント 利益	107	72

- Web研修拡販により、IT技術者研修事業などが好調
- 事業のオンライン化推進などで、増収増益



事業セグメント別損益（投資運用事業）

有価証券投資、不動産投資

	2021/3 連結	2020/3 連結
売上	131	116
セグメント 利益	77	11

- 安定的な投資継続に伴いベースの運用収入が増加

連結資産・負債の状況

(単位:百万円)

勘定科目	2021/3連結	2020/3連結	比較増減	主な要因
流動資産	7,965	6,287	+1,677	現金及び預金+464、営業投資有価証券+1000、受取手形及び売掛金+298
固定資産	2,163	2,251	△88	投資有価証券+45、繰延税金資産△157
資産合計	10,128	8,539	+1,589	
流動負債	3,258	2,772	+486	短期借入金+378、未払法人税等+194、買掛金+21
固定負債	1,344	1,203	+140	社債+140、長期借入金△42
負債合計	4,603	3,975	+627	
純資産合計	5,525	4,563	+962	利益剰余金+541、その他有価証券評価差額金+508、自己株式の取得△79
(自己株式)	(△286)	(△207)		
有利子負債	2,600	2,293	+306	

2022年3月期通期連結業績予想

単位:百万円

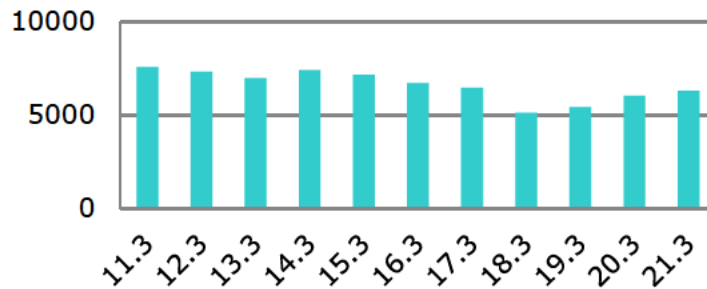
	2021/3連結	2022/3連結	前期比
売上高	6,317	6,400	+1.3%
営業利益	924	730	△21.1%
経常利益	901	720	△20.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	573	485	△15.4%



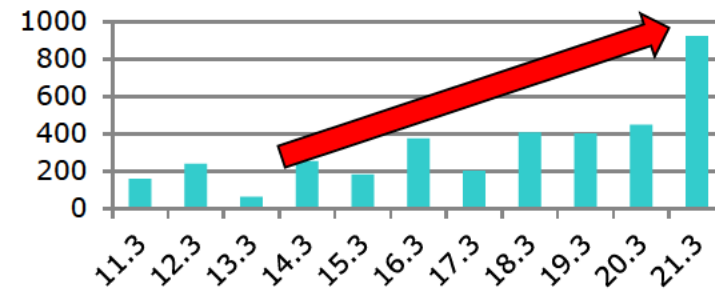
今後の事業展開について

この10年間安定した利益成長を実現。
事業環境へ適応力を生かしさらなる利益成長を目指す。

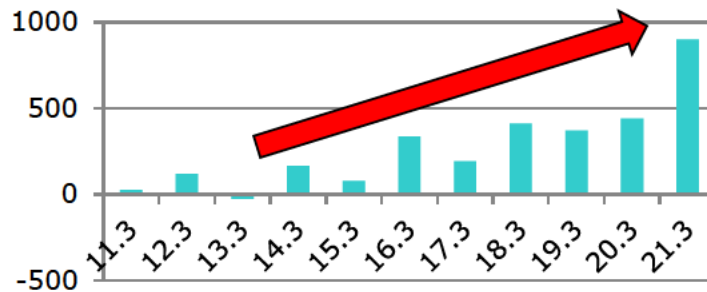
売上高



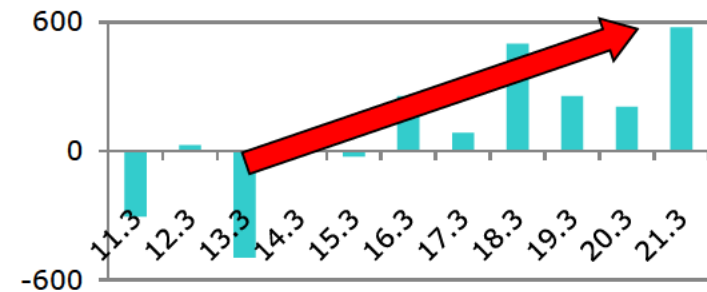
営業利益



経常利益



当期純利益



中長期の成長へ向けて

中長期成長へのポイント

デジタルコンテンツ・オンラインサービス・定額サービスなどを拡大





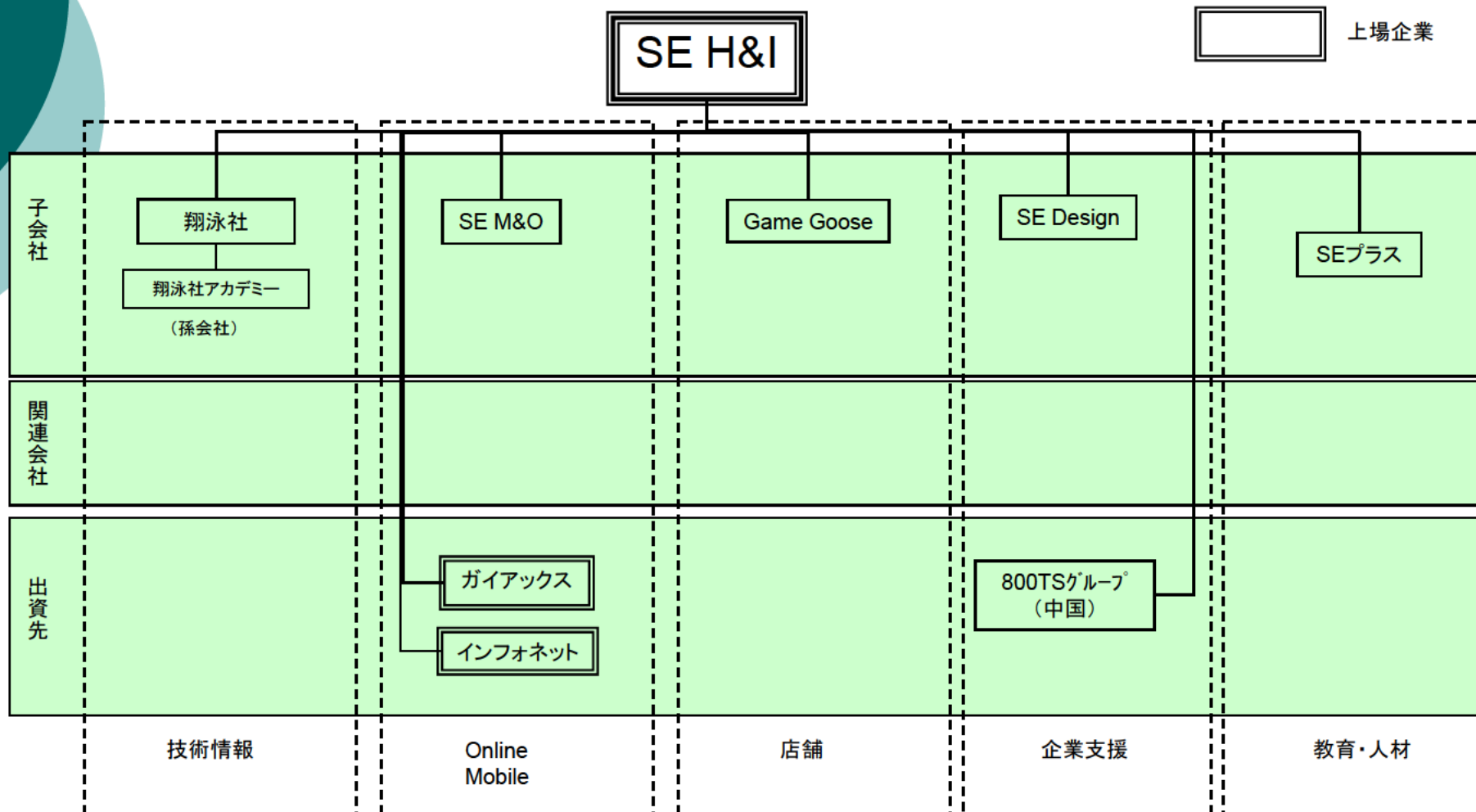
中長期の成長へ向けて

オンライン化・デジタル化を継続推進

1. 数年来拡大を図ってきたオンラインサービス、デジタルコンテンツビジネスの収益基盤拡大
 - Webメディアおよび電子商材の強化
 - オンライン販売ルートの強化
 - オンラインサービス・定額サービスの拡大
 - オンラインマーケティング支援
2. 業務環境のオンライン化
 - リモートワーク・テレワークなどによる業務環境の効率化推進を継続

長期的視野に立った事業投資・運用投資を継続

SE Holdings&Incubationsの事業会社構成




他に投資運用事業に特化したSEインベストメント(子会社)があります。



総括

- **最適な企業構成によりグループの成長を目指す。**
- **2021年3月期は、コロナ禍の中における事業基盤整備への取組を強化した結果として、大幅増収増益。**
- **出版事業及び教育・人材事業が好調。ソフトウェア・ネットワーク事業が黒字回復。コーポレートサービス事業は期を通じてコロナ禍の影響を大きく受けるも、徐々に回復。**
- **中長期成長へオンラインサービス、デジタルコンテンツなどの拡大と業務のオンライン化で業務効率の更なる向上を図る。**
- **環境変化に強い企業構造・グループ構造を目指す。**



ご不明な点、追加のご質問等は下記までご連絡ください。

SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社
経営企画部経営企画課
03-5362-3700
ir@sehi.co.jp

- 本資料は、情報提供のみを目的としたもので、その他一切の目的を意図して作成したものではありません。本資料の情報は当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その情報の正確性、完全性を全面的に保証したものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は、作成時点における当社の判断であり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。